

日本排尿機能学会からの声明文

「妊娠を計画中の女性は妊娠前から葉酸サプリメントを摂取しましょう！」

2020 年 7 月 29 日

一般社団法人日本排尿機能学会

神経管閉鎖障害は、妊娠のごく早期(妊娠 6 週頃)に発症して胎児の脳・脊髄などに異常があらわれる先天異常の一つですが、妊娠前から葉酸サプリメントを内服すると発生リスクを低減できる疾患です。神経管閉鎖障害が神経管の上部で起こると脳の形成が障害され、「無脳症」になります。この場合、大多数は妊娠前期に人工妊娠中絶に至るか死産となっています(1)。一方、神経管の下部の閉鎖障害は、いわゆる「開放性(嚢胞性)二分脊椎」で、脊椎骨が脊髄の神経組織を覆っていないため、神経組織が障害されて、歩行障害や膀胱直腸機能障害による排尿や排便の障害が起こりやすく、生涯にわたる治療とリハビリテーションが必要です。

葉酸はビタミン B 群の 1 つですが体内で合成できないため、食品からまたは化学合成された葉酸サプリメントを摂取しなければなりません。1990 年代に報告された英国と中国からの臨床研究では、妊娠前から葉酸サプリメントを投与すると神経管閉鎖障害の発生リスクが 40-80%減少することがわかりました。

厚生省(2)は 2000 年に神経管閉鎖障害の発生リスクを低減するために、妊娠を計画する女性は栄養バランスに留意した食事に加えて、葉酸サプリメント 1 日 0.4 mg を妊娠前 1 か月前から妊娠 3 か月まで摂取するよう勧告しました。一方、過去に神経管閉鎖障害の赤ちゃんを妊娠した女性(3)と抗てんかん薬を内服中の女性(4)は、主治医と相談してより高用量の葉酸サプリメントが必要です。なお葉酸サプリメントの摂取に基づく副作用は報告されていません。

本邦における葉酸サプリメントの摂取率は 10-30%と低く、神経管閉鎖障害の発生率は過去 20 年間減少傾向を示していません。2015 年の発生率は分娩 10,000 件当たり 8.7 例であり、神経管閉鎖障害に罹患した赤ちゃんの中絶された胎児の総数は、年間約 900 例です。国際的には、60 ヶ国で小麦粉、トウモロコシ粉、コメなどへ葉酸添加が義務化(5)されており、その効果として神経管閉鎖障害の発生率は 30-50%も減少しています。食事から必要とされる葉酸を十分に摂取することは非常に困難です。従って妊娠可能期の女性と妊娠を計画する女性は、妊娠前から葉酸サプリメントを摂取することを推奨します。

日本排尿機能学会は神経管閉鎖障害の発生予防活動を通して、国民の健康増進に寄与いたします。

文 献

1. 近藤厚生。ビタミン 2018; 92: 1-17
2. 厚生省通達。児母第 72 号、平成 12 年 12 月 28 日。
<https://www.mhlw.go.jp/www1/houdou/1212/h1228-1_18.html>
3. MRC vitamin study research group. Lancet 1991; 338: 131-7
4. 久佐賀晃。周産期医学 2003; 33(S):519-22
5. Food Fortification Initiative. 2019 Annual Report.
<http://ffinetwork.org/about/stay_informed/newsletters/2019AnnualReport.html>